



50th Anniversary 稲沢ロータリークラブ週報

承認日：昭和 38 年（1963 年）12 月 6 日 会長：岡田義夫／副会長：三輪卓生
 例会日：毎週水曜日 12：30～13：30 幹事：永井伸治／編集：広報会報委員会
 例会場：尾張大國霊神社（国府宮） E-mail rcinazawa@gmail.com
 稲沢市国府宮一丁目 1 番 1 号 URL <http://www.inazawa-rc.org/>
 事務所：〒492-8213 稲沢市高御堂 1-2-1（林商事ビル 1 階）
 電話：0587-24-0740 FAX：0587-22-7213 事務局携帯電話 090-4853-5262



2013-2014 R I 会長
ロンD・バートン



稲沢 RC2013～2014 年度会長方針
社会を光輝かせる人となろう！

本日の例会プログラム 第 2452 回例会 12 月 7 日（土）

例会場：ウェスティンコヤキャッスル クリスマス家族会 点鐘 18：00

第 2451 回例会報告 12 月 4 日（水）晴 No.22

☆点 鐘☆	会長 岡田義夫
☆司 会☆	会場委員長 三根健一
☆唱 和☆	君が代・奉仕の理想
☆ビジター☆	
☆会長挨拶☆	岡田義夫



今月はローターの家族月間です。年末から新年にかけて家族同士が久しく会ったり、日常から一緒に暮らしている家族に対しても、改めてそれぞれの気持ちを表す機会として、家族月間が定められたのではなからうかと思えます。今から丁度 1,000 日前、3.11 東日本大震災が発生しました。それ以降、絆という言葉が多く語られる様になりました。その意味合いは皆さんご承知のとおりですが、改めて人と人の絆を深く考えさせられる機会となりました。今は当たり前になっていることが、一つ歯車が狂うと思いがけない結果を招く事となります。そんな時家族、ご近所、友人果ては世間の様々な人々の心が励ましとなり、生き抜く力と変わって行くのではないかと思います。今週の土曜日には年末恒例のクリスマス家族会が開催されます。家族の絆を深める絶好の機会となると思えます。気持ちは有ってもなかなか伝えられない方には、親睦活動委員会の皆さんが、最高のおもてなし。テーブルマジックにじえじえじえ。あなたの気持ちの倍返し。でご家族との深い絆が築ける事と確信致しております。

最後の受付は今でしょ。

～Today's Information～ ◆◆報告事項◆◆

◆◆幹事報告◆◆ 報告者：幹事 永井伸治

- （クリスマス家族会で配布した内容です）
- ◆2013-14 年度第 6 回理事会報告
開催日時：2013 年 12 月 4 日（水）午後 1 時 30 分開会
開催場所：尾張大國霊神社（例会場）
議 題：下記全て承認いただきました
 - (1) 新会員の推薦申出（田川隆行 君）について
理事会にて申し出の承認がなされたので、ロータークラブ細則に基づき 12 月 7 日より 7 日間開示致します。
ご異議のある方は幹事までお申し出ください。
入会候補者氏名 田川隆行 様
生年月日 1969 年 8 月 21 日
住所 稲沢市下津長田町 92-1
事業所名 株式会社 田川鉄工所 常務取締役
事業所住所 稲沢市下津町西下町 52 番地
推薦者
 - (2) 服部孝至会員、桜木琢磨会員 退会届受理について
 - (3) 林茂夫会員、伊藤強平会員、野島精二会員の出席免除について
 - (4) 第 28 回 3 クラブ合同新年例会予算について

◆カラ RC2013-14 年度会長ジョン・ランキン氏よりお手紙を頂戴し、カラ収容所脱走事件の 70 周年式典にぜひ稲沢ロータークラブのメンバーと奥様にご臨席賜りたいとの内容でした。

★出席報告★ 報告者：会員組織副委員長 樋田文裕

会員総数	55 名	前々回修正	11 月 20 日
出席	37 名	出席	35 名
会員数	(内免除者 8 名)	会員数	(内免除者 8 名)
欠席者数	18 名	メイクアップ数	7 名
	(内免除者 10 名)		
出席率	82.22 %	修正出席率	93.33 %

☆ 例会 臨時変更通知 ☆

クラブ名	月/日(曜日)時間	メイクアップ会場
名古屋清須	1/28(火)12:30	名古屋マリオットアソシア H
あま	1/6(月)12:30	名鉄クラントホテル
尾西	1/6(月)12:30	尾西信用金庫本店

今週のメイクアップ 山脇敏夫、鶴飼正巳(D2760)、児島秀光、樋田文裕(C.O.M)、池田邦雄(名古屋東山) 樋田克史(一宮中央)、矢野慎史(名古屋丸の内)

☆ 例会 日程 ☆

12 月 18 日（水）12：30	12 月 25 日（水）	1 月 1 日（水）	1 月 8 日（水）12：30
年次総会	休会【定款第 6 条第 1 項(C)】	法定定休日	幸福例会 会員表彰 新会員入会式 第 7 回理事会・第 2 回委員長会議 IAC 例会 17：00
次年度理事会構成員選出総会		【定款第 6 条第 1 項(C)】	
総務委員会 13：30 IAC 例会 17：00			

◇◇ ニコボックス報告 ◇◇

報告者：副幹事 酒井兼利

小島 母の通夜・葬儀には多くの皆様のご参列をいただき、ありがとうございました。

(ニコボックス委員長より：多額にいただきありがとうございました)

田口 久しぶりに出席の喜び

永井 今週末のクリスマス家族会に多数の登録をありがとうございました。今世紀最大のマジックショーご期待下さい

酒井 2度目のニコボックス報告をさせて頂いた喜び

大野 在籍表彰をいただいて

西村、野々部、原、樋田(ヒダ)、鶴飼(正)、酒井、

樋田(トダ)、山脇 出席表彰をいただいて

樋田(ヒダ) ホームクラブ欠席のお詫び

鶴飼(正)、小島 業務多忙

バースデースピーチ～

「自分を輝かせてくれた人物について」

◇◇ 親睦委員会報告 ◇◇

報告者：親睦活動委員 高桑宏幸

12月4日生まれ 樋田文裕



本日で56歳になりました。ご覧の通りまだ輝いておりません。しかしながら、多くの人との出会いの中で貴重なアドバイスや多くのチャンス頂いた方々に巡り合いました。残念ながら、それを生かし切れずに現在に至っているのは、私の努力不足でしかないと思います。どうか

これに懲りず、これからも私が光り輝く日が来るまで私を磨き続けて頂きたいと思います。

12月7日生まれ 吉川貴祥



「輝かせてくれた人物」というより、「今まで頑張ってきた言葉」を述べます。一つ目は中学校の恩師に「物事には自然体で臨む」ことを教えて頂きました。いろんな場面で思い出し、救われてます。二つ目に母親が事あるごとに言ってくれた言葉は「乗り越えられない苦労はやってこない」です。逆に言えば、目の前にある苦労は努力次第で乗り越えられるものであるということです。三つ目は父親がくれた本の題名「そんなこと気にするな」(桜井章一著)です。たった一言ですが、当時の私にとってイヤイの言葉(題名)でした。内容も然り。目の前の曇りが晴れた覚えがあります。この3つの言葉が今の私を支えてくれた言葉です。今後は輝かせてくれた言葉になるよう頑張ります。

12月8日生まれ 伊藤 彰



私の生業は繊維の業界で育ちました。ガチャマンと言われた時代からアメリカの輸入規制により衰退産業へと移り変わり、28歳より義兄の会社、寿原へ転職、油圧業界から専用工作機械、ソニー稲沢のプラウ管用、フレーム加工、三菱電機稲沢の下請、プラ型の制作から今のダイキャスト金型製造と種々の業界で本当はたくさんの方々のご指導で今があると思っていますが、一番の師は義兄の故、原田繁です。私が36歳の時46歳で急逝しましたが、今でも心の支えです。厳しい経営状況でも泣き言を聞いた事はありませんでした。私の大切な財産です。

12月17日生まれ 加藤健司



17日に60歳になります。

卒業したての私を指導してくれた研修病院の先生方。緊張の連続でしたが、熱心に教えていただき、現在どの領域の病気にかかわらず、いろいろな患者を診ることが出来ます。また私を外科向きだ、とおだてて上手に引き込んでくれた外科の先輩方に感謝しています。

その後、癌研病院の梶谷先生、名大の二村・早川先生に手術を学び、前任地の藤岡先生に仕事の仕方を教わりました。

他にも多くの恩師にお世話になりながら自分が輝くことはできませんが、後輩が輝くようになるお手伝いができればと思っています。

12月20日生まれ 岡田義夫



家内と結婚してから35年ほど経ちます。結婚当初は二人ともまだ若かったので分からない事ばかりでした。二人で考え、人の話を聞き、何とか渡世して来ました。そうした事は歳を経た今日もその当時と変わりません。家内はいつの時も私の考えを肯定し応援してくれます。今の私が有るのはそうした家内のお陰です。今日まで沢山の皆様にお支え頂き、家内の後ろ盾に自信を授けられ、迷いなく今に至っています。この先、真に光り輝ける自分を目指して行きたいと思います。お祝い有難う御座いました。

◇尾張中央ロータークラブ創立30周年記念式典 報告◇

報告者：幹事 永井伸治

日時：2013年11月30日(土)17:30点鐘 名鉄グランドホテル

当クラブの孫クラブに当たる尾張中央RC様が、創立30周年を迎えられ、記念式典に岡田会長と永井が出席してまいりました。式典には、北名古屋市長 長瀬 保様、北名古屋市長 安藤銑悟様、RI第2760地区ガバナー 田中正規様をはじめ、分区内ローター関係、米山奨学生、米山学友、財団学友、計26名の来賓が列席し、特にスポンサークラブである名古屋清須RC様は全員登録でした。

記念事業は、北名古屋市に金50万円寄贈、米山奨学会に金165,000円寄贈、ローター財団に\$6,600、寄贈、チャリティーゴルフ寄金としてフィリピン台風30号被災地に金10万円寄贈を発表し、目録を贈呈されました。また、北名古屋市商工会、パスト会長5名、事務局員に感謝状と記念品を贈呈されました。

来賓祝辞で田中ガバナーは、「愛知県内57番目に誕生した尾張中央RCが地域に根ざした活動で歴史を刻み、これからも一層の発展を祈念します」と述べられました。スポンサークラブである名古屋清須RCの守野暢洋君より「尾張中央誕生誌」が披露されました。その中で、当時の西春日井RCは、東海銀行西春支店の2階を例会場としていて、会員数の増加に伴って例会場に入りきれなくなってきたので、クラブ分封につながった。」と、好景気に伴う会員数増加の良き時代を振り返られました。

祝宴では、アトラクションで名古屋芸術大学の学生と卒業生らが、「ザ・ベストテンコンサート」と題し、「ジュリアに傷心」、「ガッツンゲヒーロー」、「飛んでイスタンブール」、「秋桜」など、ちょうど30年前のヒット歌謡曲をダンスとともに演奏し、来場者の耳を楽しませてくれました。